京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

ツラッティ千本の運営について

当施設は、１９９４年（平成６年）１２月１日に楽只市営住宅敷地内に開設し、令和３年６月に、元楽只小学校跡地の複合施設（本館１・２階）に移転しました。楽只地域の歴史や生活、まちづくりの取組等に関する資料の収集・保存・展示を行うとともに、市民の皆様に対し同和問題をはじめとする様々な人権課題への正しい理解と人権意識の高揚を図る啓発拠点として運営しており、年間約２，２００人（令和５～７年間の平均来館者数）の方々にご来館いただいています。

施設の主な取組（概要）

○　資料展示の見学（ガイド（要予約）も可）

施設内には、千本地域の過去のくらしや街並み、これまでのまちづくりへの取組等についてまとめたパネルの展示や、当時の街並みを再現した模型があり、人権課題に関する千本地域の取組や歴史を学ぶことができます。



（展示パネル）



（模型）

○　研修会（要予約）

千本地域の歴史的経過やまちづくりの取組などについて、職員が座学にて講義いたします。内容や予約方法については、ホームページを御確認ください。

施設ホームページ：https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000049462.html

施設運営に関する支出・収入（令和７年度）

来館者１人当たりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は約２，３００円（総額約６００万円）です。施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

＜支出：２，３００円（総額６００万円）＞

人件費 １，４００円	研修や企画等の 事業費 ５００円	その他 ４００円

＜収入：なし＞

２，３００円

⟷

市民の皆様からの税金を活用

［京都市文化市民局共生社会推進室　２２２－３０９６］